

高齢者看護学方法論	2年・後期	2単位 30時間	教授 石久保雅浩
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33310772

1. 授業のねらい・概要

加齢に伴う身体機能の低下や心理・精神，社会的変化が及ぼす生活機能への影響を理解し，高齢者の生活機能，老年期を生きる人の健康保持増進および QOL に向けた援助について学ぶ。

老年期は，加齢による諸機能の変化に伴い様々な健康障害が生じる。老年期における特徴的な健康障害，疾患や治療の看護および終末期の看護を学ぶ。

2. 学修の到達目標

1. 高齢者の加齢に伴う変化が生活に及ぼす影響について説明できる。(D-2)
2. 生活機能のコアとなる6つの機能（コミュニケーション，食事，身じたく，排泄，活動・休息，睡眠）についての専門的知識・技術を説明できる。(D-2)
3. 高齢者の食生活を支える看護（食事摂取，摂食・嚥下障害）について説明できる。(D-2)
4. 高齢者の清潔・衣生活を支える看護（清潔，整容，身だしなみ）について説明できる。(D-2)
5. 高齢者の排泄を支える看護（排泄，尿失禁，排便障害）について説明できる。(D-2)
6. 高齢者の活動と休息，睡眠を支える看護について説明できる。(D-2)
7. 高齢者に特徴的に見られる疾患の看護について説明できる。(D-2)
8. 治療を受ける高齢者の看護（薬物）について説明できる。(D-2)
9. リハビリテーションを受ける高齢者の看護について説明できる。(D-2)
10. 終末期における看護および介護する家族の看護について説明できる。(D-2)
11. 看護過程（情報収集・アセスメント）について説明できる。(D-2)
12. 看護過程（看護の焦点と全体像）について説明できる。(D-2)
13. 看護過程（看護計画の立案と評価）について説明できる。(D-2)
14. 高齢者疑似体験や喪失体験から，加齢について説明できる。(D-2)
15. 体調不良にある高齢者の対応について説明できる。(D-2)

3. 授業の進め方

高齢者看護学概論の講義を踏まえて，老年期に特徴的な疾患や障害の看護について発展的に学習する。また，事例を通して高齢者の健康上の課題をアセスメントし，個別的看護計画を立案する。

【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして，事前学習型授業，リフレクションを用いる。

【ICT活用の有無】

ICT活用の実施：メールやチャット等による学生と教職員看での学習に関するコミュニケーションの機会。

4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	加齢に伴う変化	講義	予習：テキスト老年看護学①第1章「高齢者の理解」の部分を事前に読む。 復習：加齢に伴う生活の変化の概要をま	石久保雅浩

			とめる。	
2	正常老化と病的加齢現象	講義	予習：配布された資料の「正常老化と病的加齢現象」の部分を事前に読む。 復習：加齢に伴う身体的な変化の概要をまとめる。	
3	コミュニケーション障害のある高齢者の看護	講義	予習：テキスト老年看護学①の生活を支える看護第6章1「高齢者の聴覚機能」, 「高齢者の視覚機能」, 「高齢者の精神機能」, 「高齢者のコミュニケーションを困難にするその他の要因」, 「看護とコミュニケーション技術」の部分を事前に読む。 復習：「コミュニケーション障害のある高齢者の看護」に関する国家試験問題を2～3問提示し, 正答と解説をレポートにまとめる。 *次回の講義の冒頭で, 解説を発表する。	石久保
4	食生活を支える看護（食事摂取, 摂食・嚥下障害）	講義	予習：加齢に伴う咽頭・喉頭部的変化を解剖学的に捉えておく。 テキスト老年看護学①の生活を支える看護第6章2「高齢者にとっての食生活の意味」, 「食文化（地域による食生活の違い）」, 「嗜好」, 「食事を通じた交流, 共に食べる家族」, テキスト老年看護学②「食生活を支える看護の「食事」, 「脱水」, 「摂食嚥下障害」, 「低栄養」の部分を事前に読む。 復習：「食生活」に関する国家試験問題を2～3問提示し, 正答と解説をレポートにまとめる。 *次回の講義の冒頭で, 解説を発表する。	石久保
5	清潔・衣生活を支える看護（清潔, 整容, 身だしなみ）	講義	予習：加齢に伴う各関節可動域の変化を捉えておく。 テキスト老年看護学②の生活を支える看護第1章3「清潔・衣生活」の部分を事前に読む。 復習：「清潔・衣生活」に関する国家試験問題を2～3問提示し, 正答と解説をレポートにまとめる。 *次回の講義の冒頭で, 解説を発表する。	石久保
6	排泄を支える看護（排泄, 尿失禁, 排便障害）	講義	予習：解剖学的な消化機能の働きや, 加齢に伴う各関節可動域の変化 ・筋力の低下等に伴う排泄への影響と排泄障害が社会活動に及ぼす影響を調べる。 テキスト老年看護学②の生活を支える看護第1章2「排泄」, 「尿失禁」, 「排便障害（便秘・下痢・便失禁）」の部分を事前に読む。 復習：「清潔・衣生活」に関する国家試験問題を2～3問提示し, 正答と解説をレポートにまとめる。 *次回の講義の冒頭で, 解説を発表する。	石久保
7	活動と休息, 睡眠を支える看護	講義	予習：高齢者にとっての活動と休息の意味, 高齢者の睡眠の特徴と日常生活への影響について調べる。 テキスト老年看護学②の生活を支える	石久保

			看護第1章4「活動と休息」,「視覚・聴覚の障害」,「睡眠障害」の部分を読前。復習:「清潔・衣生活」に関する国家試験問題を2~3問提示し,正答と解説をレポートにまとめる。 *次回の講義の冒頭で,解説を発表する。	
8	高齢者に特徴的に見られる疾患の看護	講義	予習:テキスト老年看護学②の第1章5-2「骨粗鬆症」,5-3「骨折」,5-4「廃用症候群」の部分を読前。復習:「骨折のある高齢者の看護」に関する国家試験問題を2~3問提示し,正答と解説をレポートにまとめる。	石久保
		講義	予習:テキスト老年看護学②の第1章6-4「脳卒中」の部分を読前。復習:「脳血管疾患(脳出血・脳梗塞)のある高齢者の看護」に関する国家試験問題を2~3問提示し,正答と解説をレポートにまとめる。	
		講義	予習:テキスト老年看護学②の第1章7-1「パーキンソン病」の部分を読前。復習:「パーキンソン病のある高齢者の看護」に関する国家試験問題を2~3問提示し,正答と解説をレポートにまとめる。	
		講義	予習:テキスト老年看護学②の第1章6-1「肺炎」,6-2「慢性閉塞性肺疾患(COPD)」の部分を読前。復習:「呼吸器疾患のある高齢者の看護」に関する国家試験問題を2~3問提示し,正答と解説をレポートにまとめる。 *次回の講義の冒頭で,解説を発表する。	
9	治療を受ける高齢者の看護(薬物)	講義	予習:テキスト老年看護学②の第3章1薬物療法,1-1「加齢による生理学的変化」,1-2「薬物療法による有害反応」,1-3「服薬行動・服薬管理」の部分を読前。復習:「薬物療法を受ける高齢者の看護」に関する国家試験問題を2~3問提示し,正答と解説をレポートにまとめる。 *次回の講義の冒頭で,解説を発表する。	石久保
10	治療を受ける高齢者の看護(リハ)	講義	予習:テキスト老年看護学②の第3章3リハビリテーション,3-1「リハビリテーションの対象者とは」,3-2「加齢とリハビリテーション」,3-3「リハビリテーション開始前の注意」,3-4「経過別リハビリテーションの特徴」の部分を読前。復習:「リハビリテーションを受ける高齢者の看護」に関する国家試験問題を2~3問提示し,正答と解説をレポートにまとめる。 *次回の講義の冒頭で,解説を発表する。	石久保
11	終末期における看護および介護する家族の看護	講義	予習:テキスト老年看護学②の第4章3看取りを終えた家族への看護,3-1「家族の心理と看護」,3-2「看取りを終えた家族へのグリーフケア」,3-	石久保

			3「家族の再出発を支える」、4章4「看取りを終えたスタッフのケア」の部分を事前に読む。 復習：高齢者介護する家族に関する国家試験問題を2～3問提示し、正答と解説をレポートにまとめる。 *次回の講義の冒頭で、解説を発表する。	
12	看護過程（情報収集・アセスメント）	講義	予習：ゴードンの機能的パターン11項目の情報収集の視点、看護診断ハンドブックによる問題抽出までの考え方について事前に学習する。 復習：事例展開を行い、レポートとして提出する。	石久保
13	看護過程（看護の焦点と全体像）	講義	予習：病態関連図、患者の全体像について、基礎看護学実習の記録を振り返る。 復習：事例展開を行い、レポートとして提出する。	石久保
14	看護過程（看護計画の立案と評価）	講義	予習：大腿部頸部骨折の患者の事例の課題を事前に調べ、レポートにまとめる。 復習：事例展開を行い、レポートとして提出する。	石久保
15	高齢者疑似体験/喪失体験	演習	予習：高齢者の身体・精神・社会的側面の「老化」についてテキストを読む。 復習：体験を通しての学びをレポートにまとめ提出する。	石久保

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）80%、授業中の態度20%を総合して評価する。

成績評価は、「2.学修の到達目標」に示した評価観点ごとに、ルーブリック評価を基に、5段階評価で採点する。尚、ルーブリック評価に関する詳細は、第1回講義内で説明する。

定期試験の出題範囲および出題方法等は、事前に口頭で提示する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：1) 堀内ふき他（2025）ナーシンググラフィカ 老年看護学① 高齢者の健康と障害 メディカ出版

2) 堀内ふき他（2025）ナーシンググラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践 メディカ出版

3) 山田律子他（2025）生活機能からみた老年看護過程＋病態・生活機能関連図 医学書院
その他、必要に応じて資料を配布する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

シラバスの授業計画の範囲について最低90分の予習及び授業内容について90分以上の復習を行うこと。高齢者看護学概論で学習した内容と関連させながら主体的に参加すること。

学習内容に関する質問は、メールでも対応する。

8. 受講上の留意事項

主体的、意欲的な授業への参加が重要である。遅刻、無断欠席および講義中の私語、授業に関連する作業以外の行動は禁止とする。グループワークは、主体的かつ協働的に参加すること。

遅刻は、1コマ中45分未満の欠課を1欠課、45分以上の欠課を2欠課とし、合計8欠課を1欠席とする。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は教員が内容をチェックして返却する。内容の不備なものは再提出を求める。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合進級不可となる。

11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護師としての実務経験を活かして，講義・演習を行う。